

令和5年10月28日（土）実施



① 栗原造園

栗原造園の庭を見学し、無農薬のオーガニックガーデン、枯れ葉や枝などを焼却処分せずに自然分解するバイオネスト※1など、環境に配慮した庭づくりの説明を受ける。また、バードコール※2作りの体験をした。

※1 大きい鳥の巣のような形をした、自然物で作るコンポストの様なもの

※2 木片に穴を空け、金属の棒を差し込んだもの。金属の棒を回すと木と金属がこすれ合い、鳥の鳴き声のような音が出る

② 川越そらしど農園

限りある資源のこと、多様な生きものたちのこと、そして持続可能な農の営みとは何かを考え、農薬や化学肥料に頼らない方法で人にも環境にもやさしいお米づくりや野菜づくりに取り組んでいる農園である。

有機農法についての考え方や、農家の実情なども説明してもらい、参加者からの質問も飛び交う学びの場となった。

また、有機農法の手法の一つに、収穫後の田んぼに化学肥料を使わず、マメ科の植物などを栽培することで肥料とする「緑肥」というものがあるが、実際に田んぼに参加者が入り、クリームゾンクローバー（マメ科；別名ストロベリーキャンドル）の種を撒く体験も行った。





③ 東洋大学川越キャンパス

大学キャンパス内にある「こもれびの森」エリアを散策し、樹木などの植生やナラ枯れ対策についての説明、虫探し、木の実の採取などを行い、参加者が自然と触れ合う場となった。